報告書

	理事長	部門長	代表	代表	報告者
確認日	2025/09/30	2025/9/30	2025/9/29	2025/9/25	2025/9/25
氏 名	矢嶋	佐藤	及川	藤田	藤田

 実施日
 2025 年 9 月 18 日 (木)
 提出日
 2025 年 9 月 25 日

件 名

ホームすずらんあさみぞ 地域連携推進会議について下記のとおり報告いたします。

・開催日時:2025年9月18日(木) 10:00~11:45

・開催場所:リリーハイム

・参加者:N様(福祉に知見のある方)、M様(地域関係者)、M様(利用者保護者代表者)

〇様(利用者代表)、矢嶋(法人理事長)、佐々木(法人理事)、

及川 (ホームすずらんあさみぞ代表)、宮崎 (リリーハイム世話人)、

藤田 (ホームすずらん代表)

① 出席者紹介:

・上記参加者の紹介と挨拶

② 会議の目的、役割の説明

・パワーポイントを使用しての会議の趣旨、目的等の説明

③ グループホームに関しての説明

- ・利用者に関して
- ホームでの生活に関して
- ・防災に関して

④ グループホーム見学

グループホームひまわりの見学

⑤ 意見交換

【会議内、意見交換での質問事項】

- Q:グループホームの年齢制限は?
- A:利用に関しての年齢制限は設けていない。障害福祉サービスと介護サービスを併用している 65 歳以上の利用者もいる。

Q: グループホームからの卒業というのはあるのか?

A:すずらんの会のグループホームは介護サービス包括型であり、職員が不在の時間帯や曜日がある。身の回りの事を自身で行なうのが難しくなった場合、職員の支援が常に必要になった場合に他施設へ移行された方もいる。また、医療的な支援は提供出来ない為、そのような場合にもその方が生活を継続出来るような施設へ移行して頂くという事はあり得る。我々が提供しているのはサービスであり、利用者の皆さんはサービスを受ける権利、サービスを提供する事業者を選ぶ権利がある。グループホーム入所後も退所する事や外泊をする事に関して利用者の方の意思決定を尊重している。

また、グループホームで培った生活に必要なスキルを活かし、グループホームを出て一人 暮らしをするといった形の卒業もある。

- Q:(利用者に対して)グループホームでの生活はどうですか?
- A:自分なりに頑張れている事、そうでない事がある。毎日、仕事いく事と週末のサッカー 観戦やホームでの誕生日会が楽しみ。苦手な事を克服してやりたい事を増やしていきた い。

【感想】

- ・他事業所や他のグループホームを見る機会は少ない為、今回の会議、見学は良い機会であり参考となった。同じ地域で事業を行っていく上で、今後も協力しながら運営できると良いと思います。
- ・今回会議に参加をして、自分が生活するグループホーム以外を見学する事が出来て良かった。今後も楽しく過ごしたい。
- ・以前よりグループホームの存在は知っていたが、世話人さんの力か利用者の方が明るくなっている印象がある。外で会った時に挨拶をして下さり身近に感じ、温かみを感じるようになった。長く地域で生活をし、グループホームが出来ると聞いた時には施設のような生活をする場が出来るのかと思ったが、今回実際に中を見る事が出来、どの様な生活をしているのかを知る事が出来たのは良い機会でした。
- ・障害がある利用者は相手が自分の事をどのように思っているか等を敏感に感じ、相手を観ている。マナーやルールという点で継続して伝えていかなければならない事もあるが、今回地域の方にグループホームを見て頂く事が出来、良い機会であった。他市の法人を利用した事もあるが、保護者としてはすずらんの会を利用していて安心感がある。
- ・我々は障害福祉サービスを提供する側であり、利用者、保護者の方はそのサービスをどこで受けるのかを選択する権利がある。選んでいただけるようなサービスの提供をしていきたい。今回、色々なご意見を頂けた事はありがたく思います。

【添付として、当日使用の資料添付】

グループホーム

ホームすずらん ホームすずらんあさみぞ

地域連携推進会議



(学社会福祉法人すずらんの会

本日の議題

- ①出席者紹介
- ②会議の目的・役割
- ③グループホームに関して
 - 利用者さんに関して
 - ホームでの生活に関して
 - ・防災に関して
- 4グループホーム見学
- 5意見交換

1:出席者紹介

②:会議の目的・役割

★地域連携推進会議とは

・サービスの質の確保や利用 者が安心して暮らす事が出来 るように施設と地域が連携を 推進し、事業運営に活かす為 の会議。

★地域連携推進会議とは

会議の開催

地域連携推進員による 訪問

★会議の目的・役割

- ①:利用者と地域との関係づくり
- ②:地域の人への施設等や利用者に関する 理解の促進
- ③:施設等やサービスの透明性、質の確保
- 4:利用者の権利擁護

★会議の構成員

- 利用者
- 利用者家族
- 地域の関係者
- ・福祉に知見のある人
- ・経営に知見のある人
- 施設等所在地の市町村担当者等

③:グループホームに関して (利用者さんに関して)

★グループホームとは・・・

知的陣がいのある方が地域の中で自立した生活をおくるために、ご家族から離れて世話人と呼ばれる職員の支援を受けながらともに日々を過ごします。様々な経験を重ねて、自分らしい生活ができるよう相談や生活に関わる支援を行います。利用される方々の約70%がグループホームに住民票を移し、ご家族と世帯を分けた生活をおくられています。入居されている方々の約40%が企業に就職されており、また、約50%の方が法人内の日中事業所等へ通所しています。ホームすずらんでは、年5回の防災訓練の実施や、IHクッキングヒーターを設置するなどの防災対策に特に力を入れています。

ホームすずらんHPより

★グループホームとは・・・ 知的障害を持った利用者が、 親元から離れ、自立した生活を送 る場所。

ホームすずらん/ホームすずらんあさみぞでは利用者一人一人に個室があり、各ホーム6~7名の定員。

ここでクイズです。

Q:現在ホーム利用者の最年少と 最高齢は何歳でしょう?

A:最年少20歳、最年長76歳

〇利用者さんに関して

年 齡:20~76歳(全62名) 2024.10現在平均年齡:45.9歳(男性:43.4歳、女性:49.6歳)

• 平均区分: 4.7

日中活動先: 一般就労 : 22名(36%)

法人内事業所: 35名(57%) 法人外事業所: 4名(7%)

(2024.10月末現在)

③:グループホームに関して (ホームでの生活に関して)

利用者の一日

6:00~7:00 起床

7:30~8:30 仕事/事業所へ出発

17:00~20:00 ホーム帰着

夕食、入浴、洗濯

21:00~23:00 就寝

支援・支援者に関して

- ・支援員(世話人)は朝の送出し、夕方の迎え入れの時間帯を主に勤務。
- 夜間20:30~翌7:00までは職員 不在(一部夜勤、宿直者あり。)
- ・日曜日は職員不在。
- ・食事提供は土曜日の夕食までで、

日曜日の食事提供は無い。

防災に関して

防災に関して

- ・年5回、各ホームにて防災訓練の 実施。(地震、火災)
- 年一回法人委員会立合いの元、夜間 及び職員不在時を想定した訓練の実施。

防災訓練の様子





防災訓練報告書



地域との関わり

- サロンコンサートの実施
- →参加無料のコンサート健文センターにて
- ・クリーンウォーク
- →事業所近隣のゴミ拾い
- フェスタすずらんの実施
- →法人イベント(以前は近隣の方も参加されていたが コロナ禍以降縮小開催)

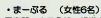
グループホームの紹介

- ・ホームすずらん 5ホーム (麻溝台、双葉、南台、豊町)
- ・ホームすずらんあさみぞ 5ホーム (下溝、当麻)



・ワイビレッジ (男性7名) 最寄駅■小田急線 相模大野駅または 小田急相模原駅

つンビニまで徒歩30秒です。 相模大野駅までのバスの便も多く便利。



最寄駅■小田急線 相模大野駅または 小田急相模原駅

カナダ産の木材を多く使用したログハウ ス風な建屋。



・パークハウス (6名) 最寄駅■小田急線 相模大野駅または 小田急相模原駅

ウンルーム型で各部屋にバス・トイレが 付いているタイプです。 1 階部分をお借 りしています。 • •



マリージュ(男性3名・女性3名) 最寄駅■小田急線 相模大野駅または 小田急相模原駅

マンション内の2部屋をお借りしています。 水道路に面した、静かな環境です。



・ワイピレッジ2(男性3名・女性3名) 最寄駅■JR相模線 原当麻駅

近辺危はスーパーマーケットや ドラッグストアストア、100円ショップ カラオケボックス、コンビニ等あり、 充実した買い物を楽しんでいます。

・リリーハイム (男性3名・女性3名) 最寄駅■JR相模線 原当麻駅

平成4年、法人で一番初めに開設した ホームです。「ワイビレッジ2」とは 50mしか離れていない為、とても連携が 取りやすいです。









